

地域	関東(神奈川県)	事業分野	製造(機械)	認定日	17年9月29日
----	----------	------	--------	-----	----------

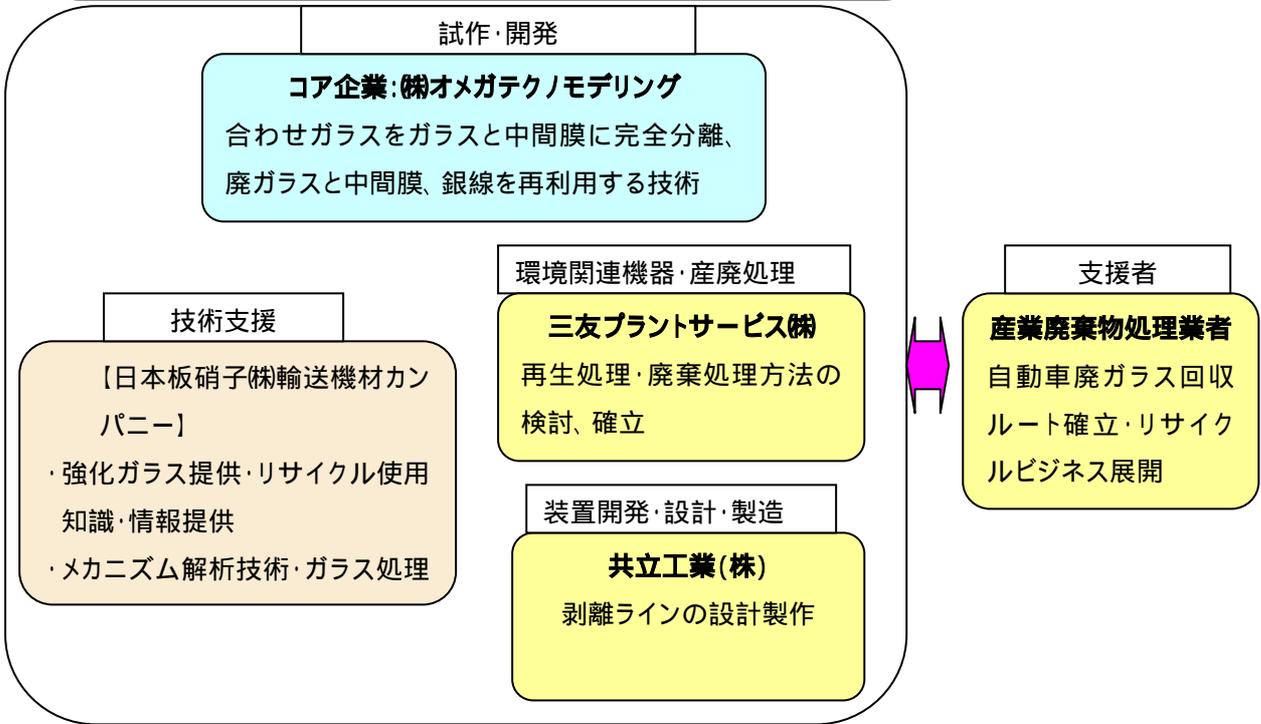
テーマ名: 合わせガラス中間膜剥離技術を用いたリサイクルシステムの確立

事業計画の概要:

- ・自動車リサイクル法に伴い、自動車廃棄時の廃ガラスリサイクル化が求められている。
- ・本事業では、自動車用強化ガラスの表面から銀線、マスキング塗料を剥離させて中間膜を分離する技術を開発。当技術により、ガラスはガラス原料として、中間膜は再度中間膜に再生させ、銀は回収することが可能となった。
- ・本技術の導入により、従来産業廃棄物として処分されていた高価値のPVB・銀・廃ガラスの有効的な再利用が図られる。

コア企業: ㈱オメガテクノモデリング(神奈川県相模原市:板ガラス加工業)
連携中小企業: 共立工業(株)(神奈川県相模原市)
連携大企業: 三友プラントサービス(株)(神奈川県相模原市)、日本板硝子(株)輸送機材カンパニー(東京都港区)

連携体の構成



連携の特徴

- ・中間膜を剥離する技術を確立したコア企業と、剥離装置の開発・製造、廃ガラスの回収業者等の連携
- ・ガラス処理技術を保有する大企業とも連携

新事業

使用済み自動車の合わせガラスをガラスと中間膜、銀線に完全分離し、リサイクル処理可能にする事業

市場性

- ・市場は自動車リサイクル法による使用済みガラス自動車リサイクル
- ・廃自動車年間400万台。自動車の取替え需要は520万台の廃ガラス市場に対応していく
- ・今後、建築用合わせガラスにも展開

支援予定メニュー

事業化・市場化補助金